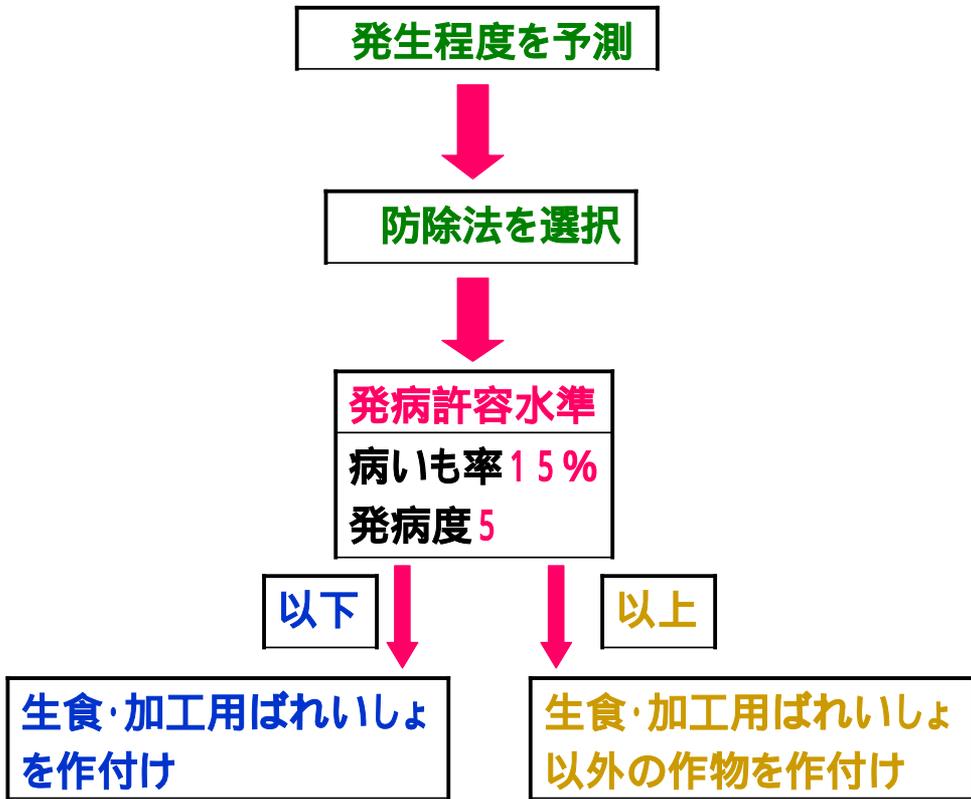


総合対策

そうか病の防除はつぎの手順にしたがって実施する。



そうか病の発生程度を考慮した作付けまでの流れ

作付け予定畑の前歴からそうか病の発生程度を予測する。

毎年、ばれいしょ収穫時に当該ほ場の病いも率を調査した後、表から発生程度に換算して、記録する。

そうか病の病いも率と発生程度区分

病いも率%	0	~5	~15	~30	~55	~80	~100
発生程度	無	少	中	多	甚	甚	甚

そうか病の発生程度に対応した防除法を選択する。

そうか病の発生程度に対応した防除法

防除法	発生程度区分と病いも率%				
	少～中	多	甚		
			31～55%	56～80%	81%以上
	1～15%	16～30%	31～55%	56～80%	81%以上
前作の選択		×	×	×	×
土壌pH調整				×	×
抵抗性品種	(やや強)	(やや強)	(強)	(強)	×

:有効, :やや有効, ×:無効

やや強: やや強以上の抵抗性品種, 強: 強以上の抵抗性品種

土壌pH調整: 目標pH5.0(種いも周辺)

有効な前作

前作物	大豆 小豆 菜豆
休閑緑肥	えん麦野生種 えん麦 アルファルファ アカロ-バ' ヘアリ-ベ'ッヂ
後作緑肥	えん麦野生種 えん麦

1. 中発以下の畑では、ばれいしょの前作に上記の表にある 作物・緑肥を 作付けするとそうか病を軽減でき、有効である。
2. 土壌のpH調整による防除は、多発以下のほ場で有効である。
3. そうか病抵抗性品種には、ごく強の「ユキラシャ」、強の「北育7号」、やや強の「スタークイーン」がある。 そうか病の発生程度に応じて選択する。

そうか病発生程度別の総合防除効果の事例

発病許容水準(病いも率15%)以下を目標として、発生程度の異なるほ場で前作の選択、土壌pHの調整、抵抗性品種を組み合わせた総合防除を実施した。

